

平成19年度第3回日本海海況予報

1. 今後の見通し（2007年10月～12月）

- (1) 隠岐諸島北方及び丹後半島北方の暖水域は、ほぼ停滞する。佐渡島北西及び佐渡島北方の暖水域は、北東に移動する。津軽半島西方の暖水域は、消滅する。
- (2) 島根沖の冷水域の張り出しは、平年並み。山陰・若狭沖及び入道埼沖の冷水域の張り出しは、弱い。佐渡島沖の冷水域の張り出しは、やや弱い。
- (3) 対馬暖流域の表面水温は、“やや高め”で経過する。
- (4) 対馬暖流域の50m深水温は、日本海西部は“平年並み”、北部は“やや高め”で経過する。

2. 経過（2007年6月～8月）

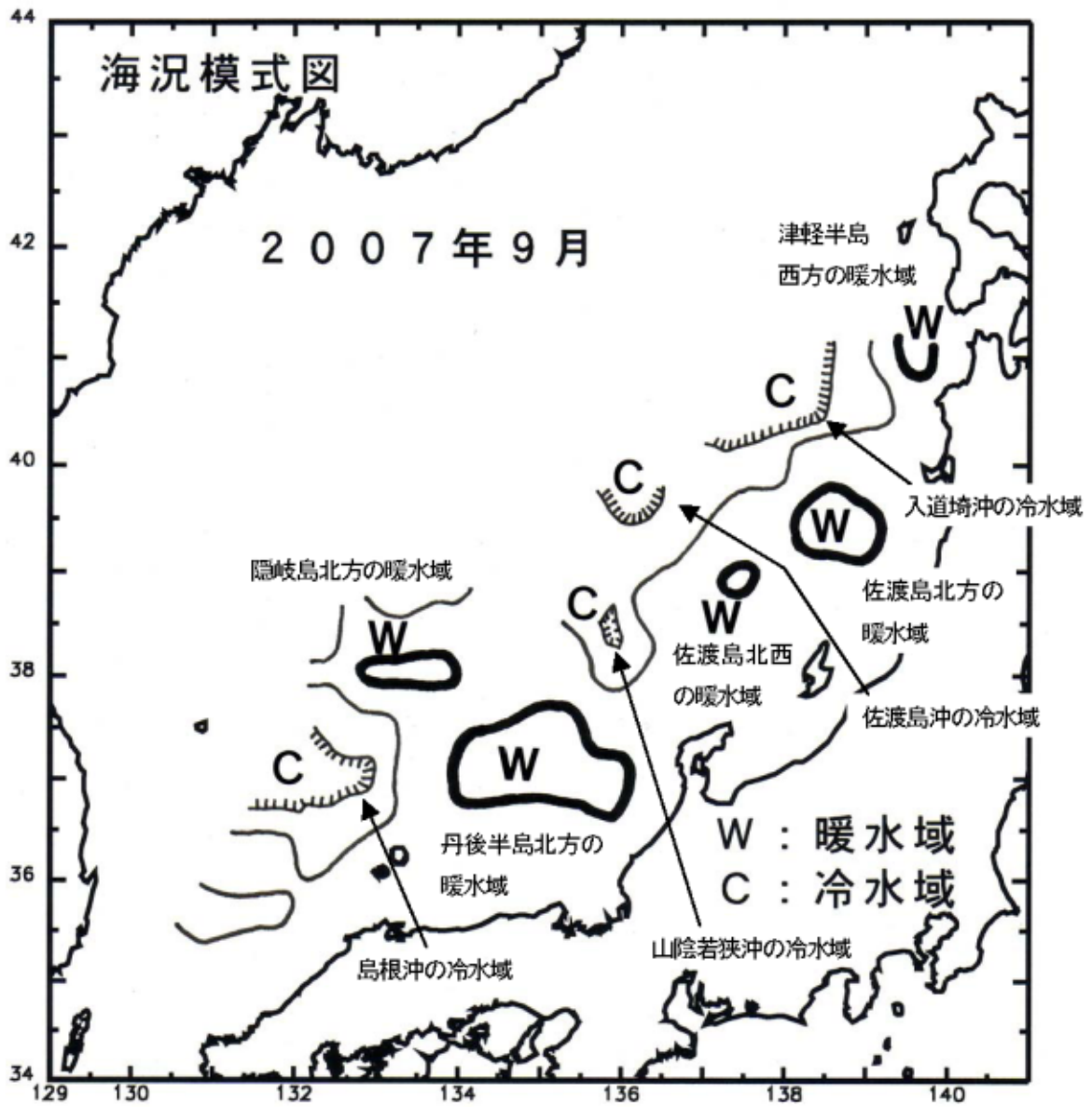
- (1) 6月に丹後半島北方でみられた暖水域は、ほぼ停滞。
6月に佐渡島沖及び佐渡島北方でみられた暖水域は、北東に移動。
6月に男鹿半島沖でみられた暖水域は、北上した後消滅。
- (2) 島根沖の冷水域は、規模は平年並みで接岸。山陰・若狭沖、佐渡島沖及び入道埼沖の冷水域は、規模は小さく離岸（6月）。
- (3) 対馬暖流域の表面水温
6月：ほぼ全域で“平年並み”～“やや低め”。
7月：広範囲の海域で“やや高め”～“かなり高め”となり、隠岐諸島北方、若狭湾沖及び佐渡島沖では“はなはだ高め”の海域が分布。
8月：ほぼ全域で“平年並み”～“やや低め”。
- (4) 対馬暖流域の50m深水温は、日本海西部は“かなり高め”、北部は“はなはだ高め”（4～6月平均）。

3. 現況（2007年9月）

- (1) 暖水域は、隠岐諸島北方、丹後半島北方、佐渡島北西、佐渡島北方及び津軽半島西方に分布。
- (2) 島根沖の冷水域は、規模は平年並みで接岸。山陰・若狭沖及び入道埼沖の冷水域は、規模は小さく離岸。佐渡島沖の冷水域は、規模は小さく接岸状況は平年並み。
- (3) 対馬暖流域の表面水温は、ほぼ全域で“平年並み”～“やや高め”となり、隠岐諸島～能登半島では“かなり高め”の海域が広範囲に分布。
- (4) 対馬暖流域の50m深水温は、日本海西部及び北部とも“平年並み”（7～9月平均）。

（注）引用符（” ”）で囲んで表した。平年比較の水温の高低の程度は以下のとおり。

- ”はなはだ高め”：約20年以上に1回の出現確率である2℃程度の高さ
- ”かなり高め”：約10年に1回の出現確率である1.5℃程度の高さ
- ”やや高め”：約4年に1回の出現確率である1℃程度の高さ
- ”平年並み”：約2年に1回の出現確率で、平年値±0.5℃程度の水温
- ”やや低め”：約4年に1回の出現確率である1℃程度の低さ
- ”かなり低め”：約10年に1回の出現確率である1.5℃程度の低さ
- ”はなはだ低め”：約20年以上に1回の出現確率である2℃程度の低さ



2007年9月の海況模式図

参 画 機 関

北海道立中央水産試験場	京都府立海洋センター
青森県水産総合研究センター	兵庫県但馬水産技術センター
秋田県水産振興センター	鳥取県水産試験場
山形県水産試験場	島根県水産技術センター
新潟県水産海洋研究所	山口県水産研究センター
富山県水産試験場	社団法人 漁業情報サービスセンター
石川県水産総合センター	水産庁 増殖推進部 漁場資源課
福井県水産試験場	独立行政法人 水産総合研究センター 日本海区水産研究所